



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（2018年12月21日設定）	
運用方針	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	当ファンド	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	韓国の金融商品取引所に上場している株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド	① 株式への実質投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	① 株式への投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 (1) 分配対象額の範囲 経費控除後の利子・配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 (2) 分配対象収益についての分配方針 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。 (3) 留保益の運用方針 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

スパークス・ 韓国株ファンド

愛称 **韓国厳選投資** 特化型

第4期 運用報告書(全体版) (決算日 2022年12月19日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・韓国株ファンド』は、このたび、第4期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			KOSPI(韓国総合株価指数) (円ベース)		株式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
(設定日) 2018年12月21日	円 10,000	円 -	% -	203.99	% -	% -	% -	百万円 616
1期(2019年12月18日)	9,046	0	△ 9.5	205.80	0.9	94.0	0.9	351
2期(2020年12月18日)	14,117	0	56.1	260.67	26.7	97.1	-	573
3期(2021年12月20日)	15,572	0	10.3	282.17	8.2	93.9	-	619
4期(2022年12月19日)	11,853	0	△23.9	247.31	△12.4	97.5	-	442

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 設定日のKOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)は、設定日前営業日(2018年12月20日)の値です。

(注5) 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」です。

(注6) KOSPI(韓国総合株価指数)は、韓国証券取引所の全上場銘柄(普通株)からなる時価総額加重平均指数です。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

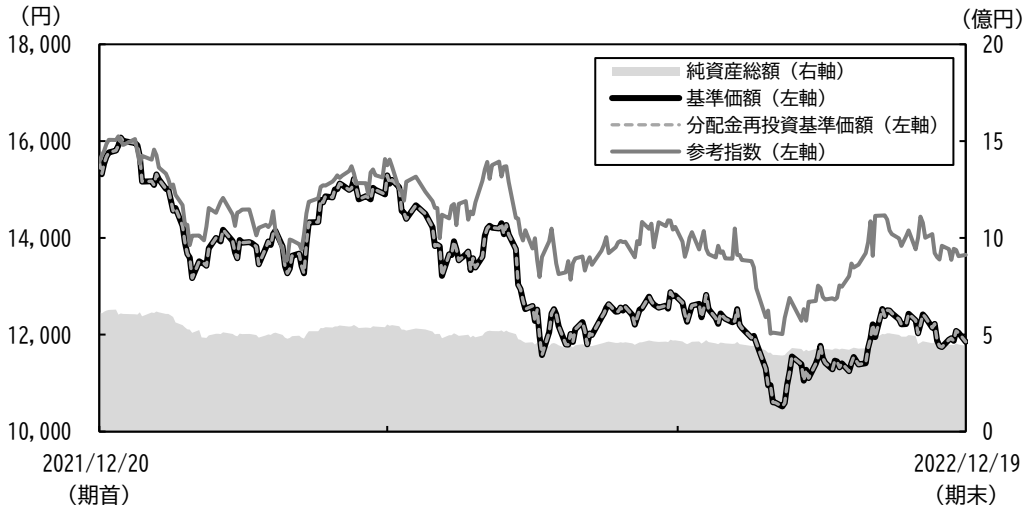
年月日	基準価額		KOSPI(韓国総合株価指数) (円ベース)		株式 組入比率	投資証券 組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2021年12月20日	円 15,572	% -	282.17	% -	% 93.9	% -
12月末	16,004	2.8	288.45	2.2	97.4	-
2022年 1月末	13,514	△13.2	254.57	△ 9.8	96.9	-
2月末	13,795	△11.4	258.56	△ 8.4	98.9	-
3月末	15,122	△ 2.9	276.15	△ 2.1	97.8	-
4月末	14,393	△ 7.6	274.66	△ 2.7	97.5	-
5月末	14,044	△ 9.8	279.28	△ 1.0	97.0	-
6月末	12,416	△20.3	244.07	△13.5	96.6	-
7月末	12,571	△19.3	252.21	△10.6	96.3	-
8月末	12,539	△19.5	256.21	△ 9.2	96.1	-
9月末	10,597	△31.9	218.07	△22.7	94.2	-
10月末	11,245	△27.8	239.33	△15.2	95.4	-
11月末	12,211	△21.6	261.60	△ 7.3	97.5	-
(期末) 2022年12月19日	11,853	△23.9	247.31	△12.4	97.5	-

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2021年12月21日～2022年12月19日)



第4期首 : 15,572円

第4期末 : 11,853円(既払分配金0円)

騰落率 : $\Delta 23.9\%$ (分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「KOSPI (韓国総合株価指数) (円ベース)」です。
- ※ 参考指数は期首(2021年12月20日)の基準価額に合わせて指数化しております。

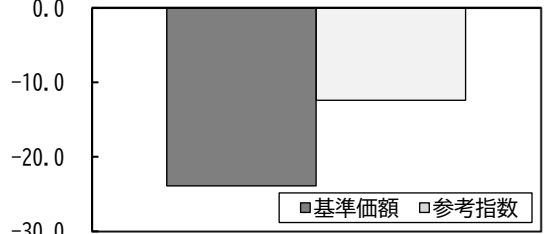
2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・韓国厳選マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)への投資を通じて、韓国の優良企業に厳選して投資を行いました。マザーファンドが投資している銘柄は、上昇した銘柄も下落した銘柄もありましたが、下落したものの影響の方が大きく、マイナスに影響しました。なお、韓国ウォンが円に対して上昇したことはプラスに寄与しました。

3) ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)
(%)



第4期

(2021年12月21日～2022年12月19日)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

FRB(米国連邦準備制度理事会)がインフレ抑制に断固として取り組む姿勢を示したこと、新型コロナウイルスの変異種(オミクロン株)の感染拡大によってインフレ圧力が生まれたこと、ウクライナ情勢の悪化による商品価格高騰などにより、韓国市場は下落しました。

■ ポートフォリオ

<スパークス・韓国株ファンド>

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、韓国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

当期のマザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

<スパークス・韓国厳選投資マザーファンド>

ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行いました。韓国の構造的変化を捉え、将来の成長機会に対応できる優良な韓国企業に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

(主なプラス要因)

世界最大級の風力発電タワーメーカーであるCS Wind Corp.(資本財)は、欧州と米国で今後風力発電需要が大幅に伸び、コモディティ価格と物流コストも下落に転じる見込みであったため上昇しました。ロシアによるウクライナ侵攻と地域主義の台頭によって、エネルギー面の独立性を保つことの重要性が浮き彫りになった結果、様々な国が化石燃料に依存せずにエネルギーの自給を拡大しようと、太陽光や風力発電に目を向けています。欧州ではエネルギー危機以降、比較的設置しやすい太陽光発電装置の売上と設置件数が急速に拡大しています。来年以降は、より綿密な計画と資本を必要とする風力発電の需要が急激に伸びると当ファンドでは考えています。

芸能プロダクションのJYP Entertainment Corp(メディア・娯楽)は業績が市場予想を上回り上昇しました。新アルバムを発表した同社所属のガールズグループTWICEとボーイズグループStray Kidsのアルバム売上枚数は好調で、売上高を押し上げました。

(主なマイナス要因)

半導体・半導体製造装置セクターに属する、SK hynix Inc.(半導体・半導体製造装置)やSamsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting(テクノロジー・ハードウェアおよび機器)は、需給両面でコロナ禍による壊滅的打撃を受け下落しました。しかし現在その打撃から立ち直る過程にあります。ロシアによるウクライナ侵攻、中国のロックダウン(都市封鎖)、スマートフォンの売上低迷などによって企業の在庫が積み上がりましたが、中国はロックダウンを解除しましたし、メモリDRAM企業は設備投資の延期を検討しています。こうした点がきっかけで、メモリDRAMの停滞サイクルが短期化する可能性があると考えられます。

ERP(Enterprise Resources Planning、基幹系業務用の統合ソフトウェア)ソリューションの大手プロバイダーのDOUZONE BIZON CO.LTD(ソフトウェア・サービス)は2022年第2四半期(4-6月期)決算が人件費の増加と景気鈍化による売上減の影響で予想を下回ったことから、大幅に下落しました。昨年来の開発技術者の賃金上昇は同社の利益を圧迫しましたが、ピークは過ぎた模様と当ファンドは考えております。

■ 今後の運用方針

<スパークス・韓国株ファンド>

マザーファンドの組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の中長期的な成長を目標に、積極的な運用を行います。

<スパークス・韓国厳選投資マザーファンド>

引き続き、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。韓国の構造的変化を捉え、将来の成長機会に対応できる優良な韓国企業に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案して見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項 目	第4期 (2021年12月21日～ 2022年12月19日)
当期分配金 (対基準価額比率)	－ (ー%)
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,226

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「－」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2021年12月21日～2022年12月19日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	237円 (130)	1.795% (0.985)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(101)	(0.765)	
(受託会社)	(6)	(0.045)	
(b) 売買委託手数料 (株 式)	32 (32)	0.242 (0.242)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) 有価証券取引税 (株 式)	11 (11)	0.083 (0.083)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)	36 (21)	0.272 (0.159)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・法定書類等の作成、印刷費用
(監査費用)	(2)	(0.015)	
(印刷費用)	(13)	(0.098)	
合 計	316	2.392	

期中の平均基準価額は13,204円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

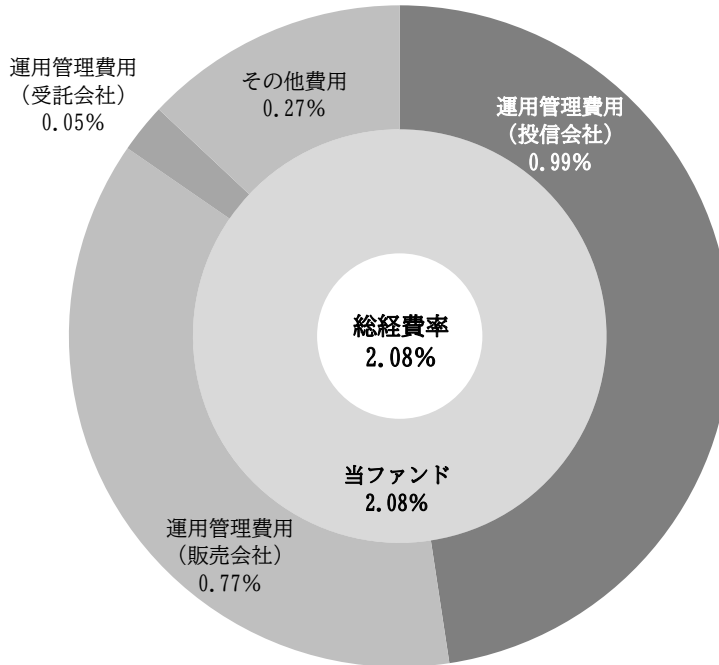
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2021年12月21日から2022年12月19日まで)

項 目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	千口 95,334	千円 136,779	千口 125,154	千円 182,692

(注) 単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託における株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	341,748千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	472,697千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.72

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 親投資信託における主要な売買銘柄 (2021年12月21日から2022年12月19日まで)

外国株式

買 柄	付			売 柄	付		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
SK hynix Inc. (韓国)	千株 5.301	千円 65,159	円 12,291	Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting (韓国)	千株 2.747	千円 17,594	円 6,405
LG Innotek Co., Ltd (韓国)	0.396	15,326	38,702	ASIA CEMENT Co., Ltd. (韓国)	7.771	17,313	2,228
T&R Biofab Co., Ltd (韓国)	2.808	13,899	4,949	SSANGYONGC&E.CO.,LTD. (韓国)	25.042	16,262	649
CJ CheilJedang Corporation (韓国)	0.29	12,883	44,425	E - M A R T I n c . (韓 国)	1.122	13,886	12,376
Duksan Hi-Metal Co., Ltd. (韓国)	6.342	10,952	1,726	Tokai Carbon Korea Co., Ltd. (韓国)	1.087	13,659	12,565
Youngone Corp. (韓国)	2.36	10,926	4,629	Boryung Corporation (韓国)	10.442	13,567	1,299
MITECH Co., Ltd. (韓国)	8.552	10,683	1,249	S K I n c . (韓 国)	0.598	12,798	21,402
Kyung Dong Navien Co., Ltd. (韓国)	1.285	6,736	5,242	Leeno Industrial Inc. (韓国)	0.528	9,381	17,768
Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting (韓国)	0.891	6,230	6,992	Medy-Tox Inc. (韓国)	0.583	8,573	14,706
Bioneer Corporation (韓国)	1.544	5,491	3,556	KCTECH CO., LTD. (韓国)	3.831	7,865	2,053

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等（2021年12月21日から2022年12月19日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2021年12月21日から2022年12月19日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況（2021年12月21日から2022年12月19日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2022年12月19日現在)

親投資信託残高

項 目	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	千口 372,382	千口 342,563	千円 441,289

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2022年12月19日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2022年12月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	千円 441,289	% 98.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,607	1.9
投 資 信 託 財 産 総 額	449,896	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお12月19日における邦貨換算レートは、1韓国ウォン=0.1047円です。

(注2) スパークス・韓国厳選投資マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(438,284千円)の投資信託財産総額(444,429千円)に対する比率は98.6%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年12月19日現在)

項目	当期末
(A)資産	449,896,896円
コール・ローン等	5,450,745
スパークス・韓国厳選投資 マザーファンド(評価額)	441,289,751
未収入金	3,156,400
(B)負債	7,448,512
未払解約金	3,156,400
未払信託報酬	4,045,540
未払利息	14
その他未払費用	246,558
(C)純資産総額(A-B)	442,448,384
元本	373,293,957
次期繰越損益金	69,154,427
(D)受益権総口数	373,293,957口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,853円

■ 損益の状況

当期 (自2021年12月21日 至2022年12月19日)

項目	当期
(A)配当等収益	△ 4,127円
支払利息	△ 4,127
(B)有価証券売買損益	△ 108,942,866
売買益	19,156,585
売買損	△ 128,099,451
(C)信託報酬等	△ 9,352,928
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 118,299,921
(E)前期繰越損益金	78,060,789
(F)追加信託差損益金	109,393,559
(配当等相当額)	(79,687,546)
(売買損益相当額)	(29,706,013)
(G)合計(D+E+F)	69,154,427
(H)収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	69,154,427
追加信託差損益金	109,393,559
(配当等相当額)	(79,725,618)
(売買損益相当額)	(29,667,941)
分配準備積立金	78,060,789
繰越損益金	△ 118,299,921

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 期首元本額	397,875,427円
期中追加設定元本額	101,779,413円
期中一部解約元本額	126,360,883円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

項目		第4期
費用控除後の配当等収益額	A	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	-円
収益調整金額	C	79,725,618円
分配準備積立金額	D	78,060,789円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	157,786,407円
当ファンドの期末残存口数	F	373,293,957口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	4,226.86円
1万口当たり分配金額	H	-円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I	-円

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	－円
----------------	----

■ お知らせ

該当事項はありません。

- ※ 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては35%を上限として運用を行います。
- ※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

スパークス・韓国厳選投資マザーファンド

第 4 期

決算日 2022年12月19日

(計算期間：2021年12月21日～2022年12月19日)

「スパークス・韓国厳選投資マザーファンド」は、2022年12月19日に第4期の決算を行いました。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行うことを基本とします。
主要投資対象	韓国の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		KOSPI(韓国総合株価指数) (円ベース)		株式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
(設定日) 2018年12月21日	円 10,000	% -	203.99	% -	% -	% -	百万円 616
1期(2019年12月18日)	9,245	△ 7.6	205.80	0.9	94.2	0.9	350
2期(2020年12月18日)	14,729	59.3	260.67	26.7	97.2	-	572
3期(2021年12月20日)	16,597	12.7	282.17	8.2	94.1	-	618
4期(2022年12月19日)	12,882	△22.4	247.31	△12.4	97.8	-	441

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

(注2) 設定日のKOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)は、設定日前営業日(2018年12月20日)の値です。

(注3) 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」です。

(注4) KOSPI(韓国総合株価指数)は、韓国証券取引所の全上場銘柄(普通株)からなる時価総額加重平均指数です。

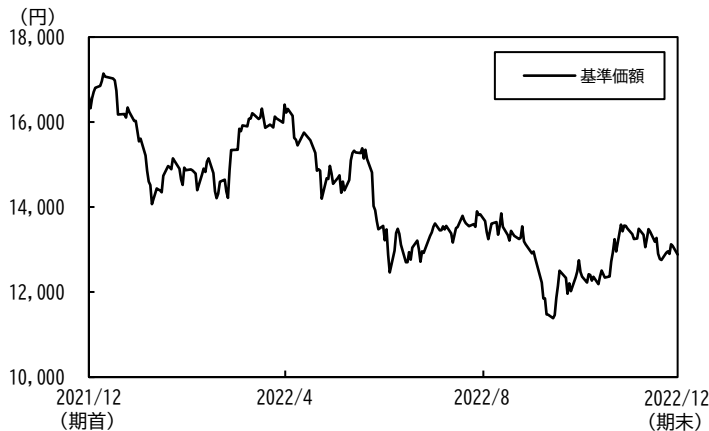
■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		KOSPI(韓国総合株価指数) (円ベース)		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2021年12月20日	円	%		%	%	%
	16,597	—	282.17	—	94.1	—
12月末	17,070	2.8	288.45	2.2	97.6	—
2022年 1月末	14,439	△13.0	254.57	△ 9.8	96.9	—
2月末	14,765	△11.0	258.56	△ 8.4	98.8	—
3月末	16,208	△ 2.3	276.15	△ 2.1	97.6	—
4月末	15,451	△ 6.9	274.66	△ 2.7	97.5	—
5月末	15,102	△ 9.0	279.28	△ 1.0	96.8	—
6月末	13,369	△19.4	244.07	△13.5	96.9	—
7月末	13,556	△18.3	252.21	△10.6	96.2	—
8月末	13,546	△18.4	256.21	△ 9.2	95.9	—
9月末	11,466	△30.9	218.07	△22.7	94.2	—
10月末	12,187	△26.6	239.33	△15.2	95.2	—
11月末	13,257	△20.1	261.60	△ 7.3	97.2	—
(期 末) 2022年12月19日	12,882	△22.4	247.31	△12.4	97.8	—

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額等の推移

当期末の基準価額は12,882円となり、第4期の騰落率は△22.4%となりました。



◆運用の詳細につきましては、2～5 ページをご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2021年12月21日～2022年12月19日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	34円 (34)	0.239% (0.239)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	12 (12)	0.085 (0.085)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	22 (22)	0.155 (0.155)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	68	0.479	
期中の平均基準価額は14,201円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2021年12月21日から2022年12月19日まで)

外国株式

			買 付		売 付	
			株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	韓 国	百株 313 (288)	千韓国ウォン 1,641,968 (-)	百株 840 (-)	千韓国ウォン 1,798,405 (8,260)	

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	341,748千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	472,697千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.72

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 主要な売買銘柄 (2021年12月21日から2022年12月19日まで)

外国株式

銘 柄	買 付			売 付			
	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
SK hynix Inc. (韓国)	5.301	65,159	12,291	Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting (韓国)	2.747	17,594	6,405
LG Innotek Co., Ltd (韓国)	0.396	15,326	38,702	ASIA CEMENT Co., Ltd. (韓国)	7.771	17,313	2,228
T&R Biofab Co., Ltd (韓国)	2.808	13,899	4,949	SSANGYONGC&E.CO.,LTD. (韓国)	25.042	16,262	649
CJ CheilJedang Corporation (韓国)	0.29	12,883	44,425	E - M A R T I n c . (韓 国)	1.122	13,886	12,376
Duksan Hi-Metal Co., Ltd. (韓国)	6.342	10,952	1,726	Tokai Carbon Korea Co., Ltd. (韓国)	1.087	13,659	12,565
Youngone Corp. (韓国)	2.36	10,926	4,629	Boryung Corporation (韓国)	10.442	13,567	1,299
MITECH Co., Ltd. (韓国)	8.552	10,683	1,249	S K I n c . (韓 国)	0.598	12,798	21,402
Kyung Dong Navien Co., Ltd. (韓国)	1.285	6,736	5,242	Leeno Industrial Inc. (韓国)	0.528	9,381	17,768
Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting (韓国)	0.891	6,230	6,992	Medy-Tox Inc. (韓国)	0.583	8,573	14,706
Bioneer Corporation (韓国)	1.544	5,491	3,556	KCTECH CO., LTD. (韓国)	3.831	7,865	2,053

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等（2021年12月21日から2022年12月19日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2021年12月21日から2022年12月19日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況（2021年12月21日から2022年12月19日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2022年12月19日現在)

外国株式

銘柄	期首 (前期末)	当 期 末			業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(韓国)	百株	百株	千韓国ウォン	千円	
SSANGYONG&E. CO., LTD.	250	—	—	—	素材
Hansol Chemical Co., Ltd	8	8	162,542	17,018	素材
ASIA CEMENT Co., Ltd.	17	21	21,440	2,244	素材
TK Corporation	70	70	114,100	11,946	資本財
Kyung Dong Navien Co., Ltd.	50	63	225,073	23,565	資本財
SK Inc.	5	—	—	—	資本財
TY Holdings Co. Ltd.	30	—	—	—	資本財
CS Wind Corp.	51	51	382,483	40,045	資本財
Youngone Corp.	—	23	106,436	11,143	耐久消費財・アパレル
E-MART Inc.	11	—	—	—	食品・生活必需品小売り
CJ CheilJedang Corporation	—	2	109,040	11,416	食品・飲料・タバコ
Harim Holdings Co., Ltd.	126	126	95,051	9,951	食品・飲料・タバコ
Suheung Co. Ltd.	64	53	178,044	18,641	ヘルスケア機器・サービス
T&R Biofab Co., Ltd	—	56	77,781	8,143	ヘルスケア機器・サービス
MITECH Co., Ltd.	—	41	49,212	5,152	ヘルスケア機器・サービス
Boryung Corporation	104	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
Bioneer Corporation	9	15	54,040	5,657	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
Medy-Tox Inc.	5	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DOUZONE BIZON CO.LTD	39	29	113,490	11,882	ソフトウェア・サービス
Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting	55	36	197,338	20,661	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
LG Innotek Co., Ltd	—	3	111,078	11,629	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
Park Systems Corp.	18	18	208,773	21,858	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
Nepes Corporation	14	—	—	—	半導体・半導体製造装置
MiCo Ltd.	193	193	169,335	17,729	半導体・半導体製造装置
Leeno Industrial Inc.	26	20	331,246	34,681	半導体・半導体製造装置
SK hynix Inc.	13	66	521,752	54,627	半導体・半導体製造装置
Systems Technology, Inc.	17	—	—	—	半導体・半導体製造装置
Tokai Carbon Korea Co., Ltd.	20	9	99,500	10,417	半導体・半導体製造装置
Duksan Hi-Metal Co., Ltd.	—	41	20,639	2,160	半導体・半導体製造装置
ISC Co., Ltd	—	15	50,085	5,243	半導体・半導体製造装置
KCTECH CO., LTD.	66	28	45,801	4,795	半導体・半導体製造装置
KoMiCo Ltd.	33	33	150,773	15,785	半導体・半導体製造装置
NAVER Corp.	5	5	94,582	9,902	メディア・娯楽

銘柄	期首 (前期末)	当 期 末				業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(韓国)	百株	百株	千韓国ウォン	千円		
JYP Entertainment Corp	53	37	245,086	25,660	メディア・娯楽	
JoyCity Corp.	228	280	115,780	12,122	メディア・娯楽	
HYBE Co., Ltd.	4	4	70,520	7,383	メディア・娯楽	
小 計	株数・金額	1,598	1,360	4,121,027	431,471	
	銘柄数<比率>	29	28	—	<97.8%>	
合 計	株数・金額	1,598	1,360	—	431,471	
	銘柄数<比率>	29	28	—	<97.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2022年12月19日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2022年12月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 431,471	% 97.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	12,958	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	444,429	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお12月19日における邦貨換算レートは、1韓国ウォン=0.1047円です。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(438,284千円)の投資信託財産総額(444,429千円)に対する比率は98.6%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年12月19日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	444,429,076 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	12,957,500
株 式(評価額)	431,471,576
(B)負 債	3,156,416
未 払 解 約 金	3,156,400
未 払 利 息	16
(C)純 資 産 総 額(A - B)	441,272,660
元 本	342,563,074
次 期 繰 越 損 益 金	98,709,586
(D)受 益 権 総 口 数	342,563,074 口
1万口当たり基準価額(C / D)	12,882 円

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額	372,382,488 円
期中追加設定元本額	95,334,853 円
期中解約元本額	125,154,267 円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・韓国株ファンド	342,563,074 円

■ お知らせ

該当事項はありません。

■ 損益の状況

当期 (自2021年12月21日 至2022年12月19日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	4,666,967 円
受 取 配 当 金	4,680,772
支 払 利 息	△ 13,805
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 134,776,618
売 買 損 益	69,739,885
売 買 損 益	△ 204,516,503
(C)信 託 報 酬 等	△ 758,363
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 130,868,014
(E)前 期 繰 越 損 益 金	245,671,133
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	41,444,519
(G)解 約 差 損 益 金	△ 57,538,052
(H)合 計(D+E+F+G)	98,709,586
次 期 繰 越 損 益 金(H)	98,709,586

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。